



3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

令和6年能登半島地震

～自衛隊の力を結集 いま被災地のために！～



各種行事・訓練

令和6年能登半島地震に係る災害派遣
師団武装走競技会
第34代幕僚長 武本1佐 着任
新着任部隊長紹介
第33代幕僚長 小倉1佐 離任
第3音楽隊演奏練成



みんなの架け橋

自衛隊兵庫地方協力本部



職場の豆知識

「ヘアスタイル」



第3師団隊員紹介コーナー

師団戦士
我が部隊の新戦力
一隅を照らす
私の大切な物



表紙写真：令和6年能登半島地震災害派遣



令和6年能登半島地震 自衛隊の力を結集 いま被災地のために！



物資輸送拠点での支援活動



ヘリによる救援物資空輸



遊撃隊による孤立住民の搬送



衛生隊員による巡回診療



慰問演奏



第3師団派遣隊主力の前進（第36普通科連隊）



授業再開が困難な小学校から授業可能な中学校への資材輸送



断水地域における給水支援



女性自衛官によるニーズ確認



避難所における給食支援



入浴支援

第3師団（師団長 佐藤陸将）は、令和6年1月1日、石川県能登半島地震に発生した「令和6年能登半島地震」に係る災害派遣活動を開始した。関係機関と連携し、救援物資の輸送支援、各種生活支援を実施中である（1月25日現在）。

地震の影響による道路環境の悪化に伴い、車両が進入できない地域は徒歩による活動が余儀なくされるなか、隊員は士気旺盛に支援活動を実施した。

災害派遣に従事した石川県出身の隊員は「故郷のために、全力で任務に取り組みます」と決意を述べた。

第3師団は、被災された方々に寄り添った支援活動を引き続き実施していく。



己のプライドをかけて全力疾走！

Champion



開会式 選手宣誓 第37普通科連隊 村田3曹



一斉にスタート



朝日を背に力走

師団は12月下旬、信太山演習場において、師団武装走競技会を実施した。競技は個人対抗の部及びチーム対抗の部で実施され、各部隊が威信をかけて競技に臨んだ。勾配のあるコースでペースダウンした選手をチームの仲間が鼓舞し、支え合い、ゴールに向かって力走する姿などが見られた。競技後の閉会式では、部隊表彰及び個人タイムの成績優秀者が表彰された。本競技会を通じて部隊が更に一致団結し、個人の闘争心の向上を図った。



沿道からの激励を受けて力走



一進一退の展開

- チーム対抗Aグループ（連隊の部）
- 第1位 第37普通科連隊 第5中隊対戦車小队第1分隊
 - 第2位 第37普通科連隊 本部管理中隊情報小队第3班
 - 第3位 第37普通科連隊 重迫撃砲中隊通信班
- チーム対抗Bグループ（大隊の部）
- 第1位 第3通信大隊 第2中隊共用通信第2班
 - 第2位 第3高射特科大隊 指揮情報中隊射撃小队第3班
 - 第3位 第3偵察戦闘大隊 戦闘中隊第3小队小銃分隊
- チーム対抗Cグループ（隊の部）
- 第1位 第3飛行隊 整備班A
 - 第2位 第3特殊武器防護隊 偵察小队第2偵察班
 - 第3位 第3飛行隊 整備班B



チームを鼓舞して先導する選手



難所の登り坂を力走



心をひとつに全員ゴール！！



ラストスパート！！



着任挨拶



状況報告受け



新幕僚長に武本1佐が着任

令和5年12月22日（金）付で武本 康博（たけもと やすひろ）1等陸佐が、第34代第3師団司令部幕僚長に着任した。大阪府出身
前職は、陸上幕僚監部人事教育部予備自衛官室長（市ヶ谷）



第34代

第3師団司令部 幕僚長
1等陸佐 武本 康博

新着任部隊長紹介

第3師団司令部付隊長

要望事項

「支えよ 助けよ 協力せよ」



おおしま けいすけ
大嶋 圭介 3等陸佐

出身地 兵庫県
期 別 08I（部内幹候）
第14後方支援隊（善通寺）から

第36普通科連隊長

要望事項

「誇りを持って」



こが りつやす
古賀 理都靖 1等陸佐

出身地 熊本県
期 別 98B（一般幹候）
富士教導団（富士）から

第7普通科連隊長

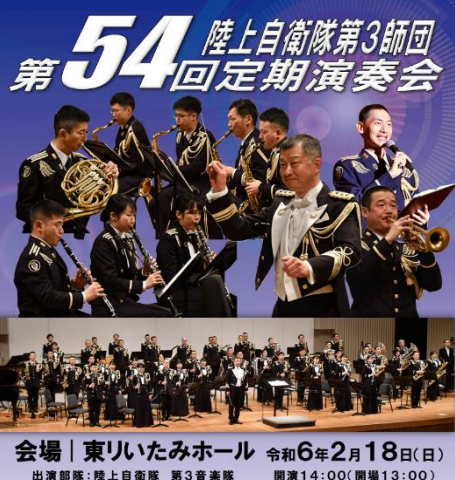
要望事項

「仕事と生活の調和」
「相手の立場で考える。」
「簡 明」



さとう のりひと
佐藤 教人 1等陸佐

出身地 青森県
期 別 95B（一般幹候）
北部方面總監部（札幌）から



※演奏会の応募は
終了しています。



第3音楽隊（隊長 今井1尉）は、2月18日に実施される第54回定期演奏会に向けて練習を実施中である。練習では、移動を交えながらの演奏や、隊形について細かく確認するなど、本番に向けて準備を整えた。

小師団定期演奏会に向け練成中



離任挨拶



見送り行事

小倉1佐が第3師団司令部の勤務を終え離任
師団は、令和5年12月20日、千僧駐屯地において、第34代幕僚長 小倉1佐の離任行事を実施した。苦楽をともにした司令部勤務の隊員による温かい見送りのなか、新任地である東北方面總監部（仙台）へ向け、千僧駐屯地をあとにした。

師団戦士

「愛する妻のために！」



第3特科隊 情報中隊
3等陸曹 平田 伊吹

第3特科隊情報中隊所属の平田伊吹（ひらた いぶき）3曹へのインタビューです。

平田3曹は、令和2年3月入隊、同年9月に情報中隊へ配属され、令和5年7月に3等陸曹に昇任しました。現在は音源標定陸曹として勤務しています。また、昨年9月に念願の入籍を果たし、公私ともに今一番勢いにのっている隊員です。



【陸曹教育隊入校時期、出身は。】
A 第142期、令和5年1月入校、出身は愛媛県松山市です。

【陸曹教育隊入校期間について】
A 印象に残っている訓練は、総合訓練です。同期と共に努力してきた集大成を示すことができ、印象に残っています。

【教育を振り返り特に学んだことは。】
A 部隊を動かす指揮能力及び状況に応じ上司へ意見具申することの大切さを学びました。

【陸曹になっての心境の変化は。】
A 陸士の頃よりも自分の言動に対し、責任の重さを感じるようにになりました。

【今後の部隊での目標は。】
A 陸士の模範となることです。陸曹を目指す後輩隊員に一言失敗を恐れず何事にもチャレンジしよう。



我が部隊の新戦力

「需品整備手として」



第3後方支援連隊
第1整備大隊本部付隊
1等陸士 沖山 真帆

第3後方支援連隊第1整備大隊本部付隊需品整備班所属の沖山真帆（おきやま まほ）1士へのインタビューです。

【入隊時期、出身は。】
A 令和5年4月入隊、大阪府出身です。

【入隊の動機は。】
A 学校で行われた自衛隊地方協力本部の就職案内・説明を聞いて自衛隊に興味湧き、志願しました。

【現職務のやりがいは。】
A 天幕等のキャンバス整備（ミシン掛け）が楽しいです。

【現職務で苦労していることは。】
A 体力面に課題があると感じています。課題克服のため、課業外の時間を使って体力錬成を実施中です。

【尊敬する先輩は。】
A 同じ需品整備班の亀甲3曹です。私が職場で分からないことや困っている時、何でも丁寧に教えてくれます。

【営内での生活は。】
A 同部屋先輩と毎日楽しい時間を過ごしています。

【今後の目標は。】
A 陸曹候補生選抜試験に合格し、陸曹になることです。

【最後に一言】
A 俸給のベースアップもあり、それに見合う働きをします。

一隅を照らす

「駆け足ニキ」



第3通信大隊 本部管理中隊
1等陸曹 安藤 祐二

第3通信大隊本部管理中隊所属の安藤祐二（あんどう ゆうじ）1曹を紹介します。

安藤1曹は、令和3年3月に中隊に配属され、大隊本部第3係通信統制陸曹として勤務しています。

また、災害派遣の際や各種戦技競技会において、計画を現況把握及び作成するなど、部隊の隊務運営にも貢献しています。

【昨年度の体力・射撃・格闘検定において優秀な成績を収め、通信大隊が選出する「通信大隊最強戦士」に選ばれました。】
A さらに、大隊武装走競技会40歳以上の部第1位、全兵庫川西市が実施する「川西一庫ダム周遊里山ファンラン」10km走40歳以上の部において2年連続で優勝しています。

【努力を惜しまず、公私に渡って充実している安藤1曹は、通信大隊全隊員の模範かつ、若年隊員の「兄貴」的存在です。】



大隊武装走競技会において力走する安藤1曹

私の大切な物 「砥石」日本刀並みの切れ味に！



第37普通科連隊
本部管理中隊
2等陸曹 愛甲 秀明

今回は、第37普通科連隊本部管理中隊所属の愛甲秀明（あいこう ひであき）2曹が大切にしている「砥石」を紹介します。砥石は、一般的に家庭で包丁を研ぐ際に使用しますが、私は趣味で様々な刃物を数種類の砥石を使い分けて研いでいます。きっかけは、密度の高い仕上げ砥石の発見でした。それまでは、よくある砥石でそれなりの仕上がりがでしたが、密度の高い良い仕上げ砥石で研ぐと見違えるような切れ味になります。刃物研ぎの魅力は、100円均一の包丁や刃こぼれして全く切れない状態の刃物を、新品以上の切れ味にできることです。私に砥ぎを依頼してきた人はいつも大変喜んでくれ、達成感を感じます。現在は“天然砥石”で、異次元の切れ味を求めて研究中です。また、様々な方からの研ぎ依頼を募集しています。



愛用の「砥石」

Facebook